

地域と家族を守る!

消防団は、火災出動のほか、地震や豪雨などの大規模災害が発生した際にも出動し、消火活動や避難誘導、危険箇所の警戒を行っています。平常時は、消防車両の操作訓練や点検、消防演習などの行事へ参加しながら、有事に備えています。今回は、実際に活動する団員の思いや、団員を支える制度、特徴的な活動などについて紹介します。

身近で頼りになる存在だけど

全国的に消防団員が減少



消防団と消防署ってどう違うの?

消防団は消防署と同じ消防機関です。消防署員は、消防業務を専門としているのに対し、消防団員は、会社員や自営業、主婦などの傍ら、災害などの際には消防団員としてその対応に当たります。



市消防団第12分団員 **浅沼 愛美さん(38歳)**

令和3年に入団、理学療法士の仕事と二人の子育てをしながら活動中。分団長である父の背中を追いながら、自分だからこそできる活動の在り方を模索し、活動に励んでいる。

親子で消防団員の方に聞きました

一仕事と家庭の傍らに活動する消防団。そのやりがいは?

(父) 普段は仕事、必要とされたら助けに向かう、まるでスーパーマンだと思うんです。現場での活動を通じて、**地域の人に頼りにされていることを実感**できるのが嬉しいですね。活動を続けるうちに知り合いが増えて大切なつながりもできていく、それが自分の生活の支えにもなっています。
 (娘) 消防団といえば火を消すというイメージかもしれませんが、現場で住民の話を聞きケア

ご家族の声

をするのも大切な任務で、**仕事や家庭での経験が強み**になっていると思います。**力仕事は難しいけれど、細やかな配慮が必要な場面**で力になれるかもしれない、という気持ちで活動しています。

一消防団に入団して分かったこと、あまり知られていないことは?

(父) 昔と違い、最前線で火を消すのは消防署員で、我々は自分の安全を確保しつつそのサポートをするのが任務です。地域の危険箇所など、**地域を知っていることがいざというときの力**になります。また、消防団は複数の町内会にまたがる組織なので、地域をつなぐ役割も担っていますね。
 (娘) 消火栓にいろいろな種類があることや水の出し方も、入団して初めて知りました。出動時は、現場で消防団員の安全が確保されていることをすごく実感しましたね。同時に消防署員よりも、**サポートする消防団員の数のほうが圧倒的に必要**なことも実感しました。消防団の活動地域は決まっているので、各地域でいかに準備で

きるかが大切だと思います。

一消防団を続ける、その魅力は?

(父) **人とのつながり**ですね。消防団という共通のつながりから気の合う仲間ができて、新しい趣味や文化に触れられるのは魅力的ですね。また、例えば動画制作が好きなら広報部隊とか、機械関係が好きならドローン部隊とか、自分が**好き・得意な分野で地域に貢献**できるかもしれない、という魅力だと思います。

(娘) 私も、**いろいろな職種の人に会えたり子育てについて相談**できたり、困ったときに頼りになる人がたくさんできました。どの消防団員も誰かのために頑張っている、だからこそ消防団は**人と人をつなぐ役割**を持っているのかなと思いますね。



市消防団第12分団長 **浅沼 芳光さん(62歳)**

分団長として、団員が活動しやすい環境づくりや、地域に愛される消防団を目指し活動中。ドローンを使った活動など、新たな技術の導入にも積極的に取り組んでいる。



左から浅沼芳枝さん、瑤希さん、芳光さん、麟太郎くん、愛美さん、みち子さん

団員の活動

得意な分野を生かします

航空支援隊

新たな空の目「ドローン」を活用



災害発生時の情報収集や行方不明者の捜索などの活動をしています。ドローン操作の講習を受け、初心者でも技術を習得し活躍しています。

水難救助隊

水害時の心強い存在



水害時などにおいて逃げ遅れた人を安全に避難させるために、船外機付きのボートや排水ポンプを使用し、プールや湖などで訓練を行っています。

ラッパ隊

指揮と統制の要

消防団員の士気高揚やPRのため活動しています。ラッパの音はド・ソ・ド・ミ・ソの5音だけ。音を正確に出せるよう訓練を重ねています。

広報部隊

団の魅力と地域防災の普及を発信

消防団行事での撮影や取材のほか、団員募集のため各種行事に参加。防火衣などの着装体験やPRブースでの活動紹介などで、消防団・防災について発信しています。



サンフレッシュ都南 (7月5日)



令和6年発足!



イオンモール盛岡南 (6月22日)

イベントを開催しました

こんな事もしています

市消防団員で構成する「南部火消伝統保存会」は、「山車運行」や「裸参り」「まとい振り」「はしご乗り」といった「南部火消し」の伝統行事の保存、伝承活動に取り組んでいます。

市消防団ホームページをリニューアル! 団員のさまざまな活動を紹介しています。



制度も充実

やりがいと安心があります

消防団員報酬の支給

消防団の階級に応じて年額報酬(団員:年間3万6500円)と、出動報酬(訓練など3000円~)が支給されます。また、5年以上活動した団員には退職報償金(20万円~)も支払われます。

公務災害補償

消防団員が活動中に負傷や疾病などの公務上の災害を受けた場合に、その災害によって生じた損害を補償する制度で、療養補償、休業補償などがあります。

市学生消防団員活動認証制度

市内に居住する大学生や専門学校生などが消防団員として地域社会へ貢献した功績を市長が認証し、就職活動を支援することを目的とする制度です。

市消防団協力事業所

市消防団に協力する事業所に、「消防団協力事業所表示証」を交付し、当該事業所の地域への社会貢献を広く周知します。

いわて消防団応援の店

消防団員を対象に、割引などのサービスを提供している企業や店舗です。登録店舗など詳しくは、県ホームページをご覧ください。

消防団の制度について詳しくは、市ホームページをご覧ください。
【広報ID】1001122



消防団員募集!

興味はあるけど... 資格などは要るの?!

無理のない範囲で活動ができます



対象 18歳以上で、市内に居住または勤務している健康な人であれば、誰でも入団できます。

入団に関するお問い合わせはこちら

【問】消防対策室 ☎626-7404
 ✉shoubou@city.morioka.iwate.jp

市長コラム

火災や風水害などの災害から、市民の命と暮らしを守る消防団の皆さんに、心から感謝申し上げます。

困ったとき、すぐそばにいてくれる存在。その姿が、地域に安心と勇気を届けてくれています。

いま、消防団の役割はますます大きくなっています。「自分にも何かできるかも」—そう感じた方、ぜひ入団してみませんか? あなたの一步が、まちを守る力になります。ともに活動できる日を、楽しみにしています。

盛岡市長 内館 茂

